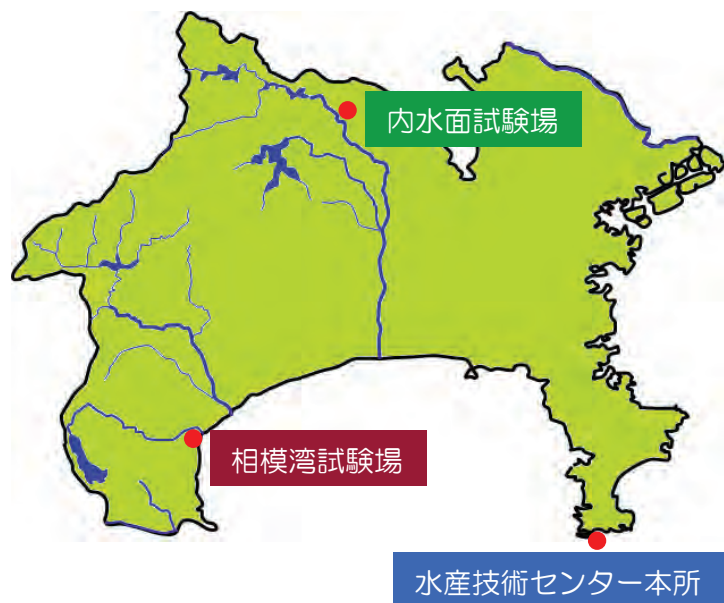


水産技術センター



内水面試験場



相模湾試験場



企画研究部企画指導課（本所）



ほうじょう



企画研究部資源管理課（本所）



海の森再生の取組

失われた海藻の森(藻場)を再生するための技術開発と現場展開

海藻の生い茂る「藻場」は生命のゆりかごとも呼ばれ、水産動物の生育場や二酸化炭素の吸収源として極めて重要です。

しかし我が国の藻場は、魚類(アイゴなど)やウニの被害、海水温の上昇などが原因とされる「磯焼け」の発生で急激に減少しており、本県沿岸でも地域によっては藻場が消滅する危機的な状況となっています。

当センターは、海藻が消失する現象である「磯焼け」の発生で失われた海藻の森(藻場)を再生する取組を進めています。かつて相模湾で大規模な藻場を構成していた「カジメ」や「アカモク」を水産技術センターで培養・育成し、磯焼けで海藻が消失した県内沿岸域に「海藻畑」を作り、周囲に藻場が拡散していくことを目指して地元漁協・漁業者と協力して事業展開しています。

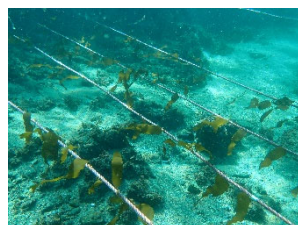
また当センターで培養・育成しているカジメは、通常よりも早く成熟する特性を持つ「早熟性カジメ」を活用しており、より高い藻場再生効果が期待されています。



磯焼けした海域



海藻畑の設置



造成したカジメ畑



造成後に成長したアカモク

未病改善にマグロ血合の効果！！

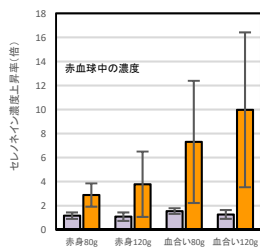
抗酸化物質セレノネインを多く含むマグロ血合のヒトでの効果

当センターと、[国研]水産技術研究所、聖マリアンナ医科大学難病治療センターの3者で、マグロに含まれる抗酸化物質セレノネインに着目したヒトへの有効性について共同臨床研究を行いました。

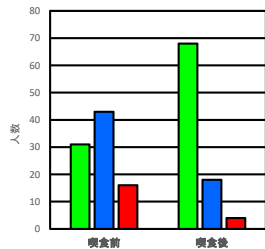
100名の被験者で週3回、3週間の摂取試験を行ったところ、セレノネイン摂取量に比例して体内に蓄積し、蓄積量に比例して活性酸素除去能の上昇により、ストレス改善効果が見られました。また、アンチエイジング指標のサーチュニン2の増加も見られ、特に一部のレスポナーの方で大幅な増加があることが確認されました。

セレノネインやタウリンなど、機能性成分を多く含むマグロの継続摂取で未病改善効果が期待されます。これらの研究成果を三崎港周辺の地域振興に活かすため、三浦商工会議所が「まぐろ未病改善効果研究会」を発足させ、令和6年10月にはマグロ・カジキの血合の新たな名称を公募し「茜身(あかねみ)」と名付け、商工会や会員の飲食店を中心にメニュー開発等の普及活動を行っています。

当センターは、茜身の品質を保証するための認証制度の基準作り等の支援をしています。



摂取での血中セレノネイン上昇率



摂取での酸化ストレス改善



血合の刺身 塩ごま油で



メバチとカジキの血合のシューマイ